

大規模土砂災害危機管理検討委員会

第 1 回資料

平成 18 年 9 月 7 日

目 次

1. 土砂災害における危機管理概念図.....	1
2. 大規模土砂災害対応の実態と課題.....	2
2.1 平成 18 年 7 月 19 日 岡谷市土石流災害	4
2.2 平成 18 年 5 月 13 日 東横山地すべり災害	12
2.3 平成 16 年 10 月 23 日 新潟県中越地震土砂災害	20
2.4 平成 7 年 1 月 17 日 阪神淡路大震災土砂災害	26
3. 大規模土砂災害の課題の整理	32
4. 土砂災害防止に関する関連法令.....	34

【参考資料 1】土砂災害に関する対応の時系列整理表

- | | |
|----------------------|--------------------|
| 1. 平成 18 年 7 月 19 日 | 長野県岡谷市土石流災害対応の時系列 |
| 2. 平成 18 年 5 月 13 日 | 岐阜県東横山地すべり災害対応の時系列 |
| 3. 平成 16 年 10 月 23 日 | 新潟県中越地震土砂災害対応の時系列 |
| 4. 平成 7 年 1 月 17 日 | 阪神淡路大震災土砂災害対応の時系列 |

【参考資料 2－1】関連法令集

【参考資料 2－2】関係法体系図表

【参考資料 3】全国の直轄砂防エリアと直轄砂防関係事務所

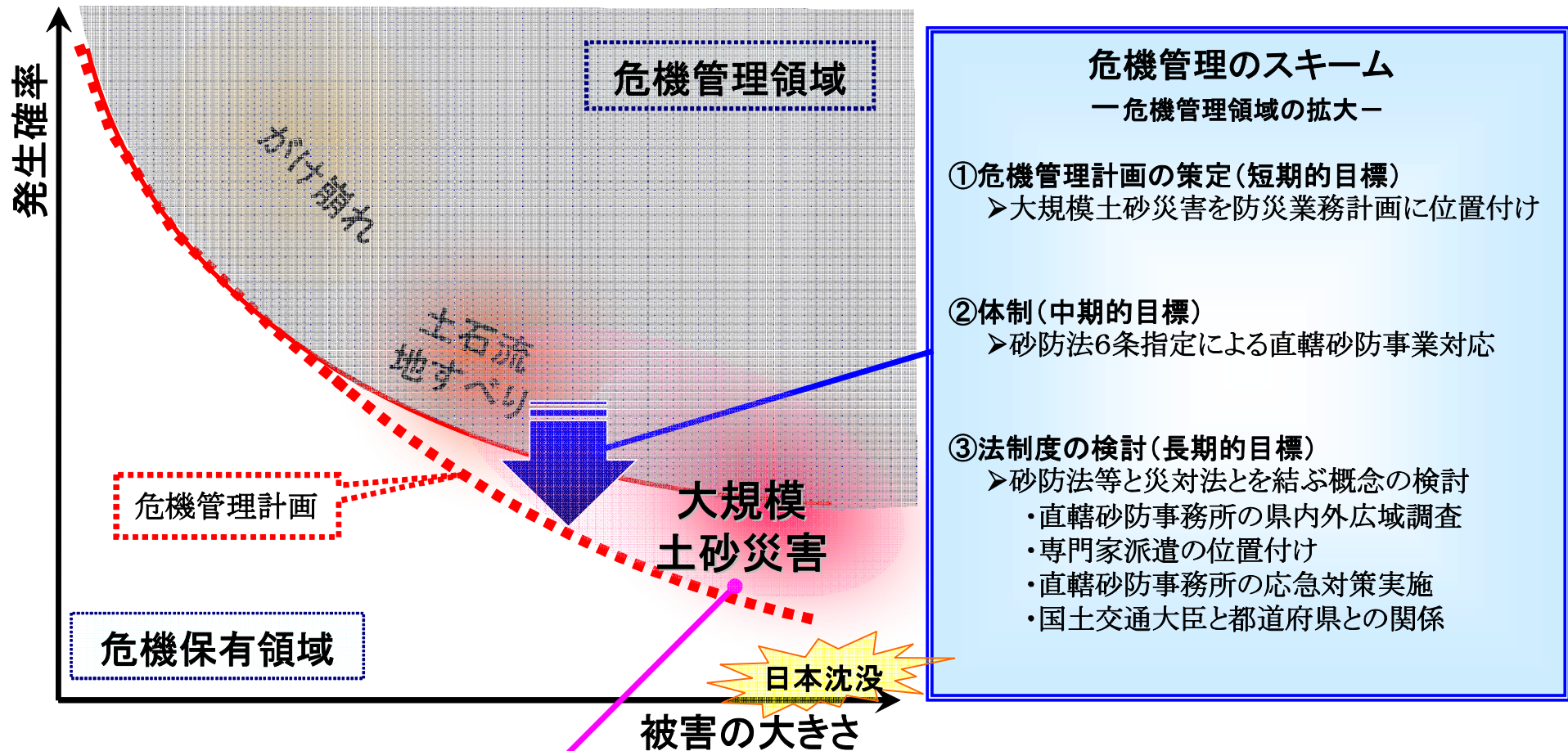
【参考資料 4】土砂災害における専門家派遣実績

【参考資料 5】防災業務計画と災害応急対策の抜粋、災害対策基本法と 3 災害での対応比較、災害対策基本法第 77 条と他法令との関連、災害対策法と国民保護法

【参考資料 6】主な土砂災害一覧

土砂災害における危機管理概念図

国土交通省
砂防部保全課

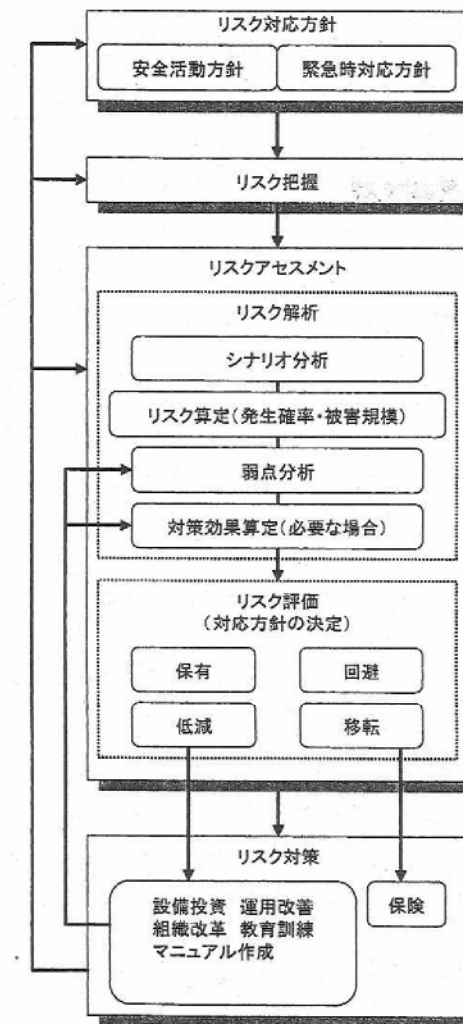
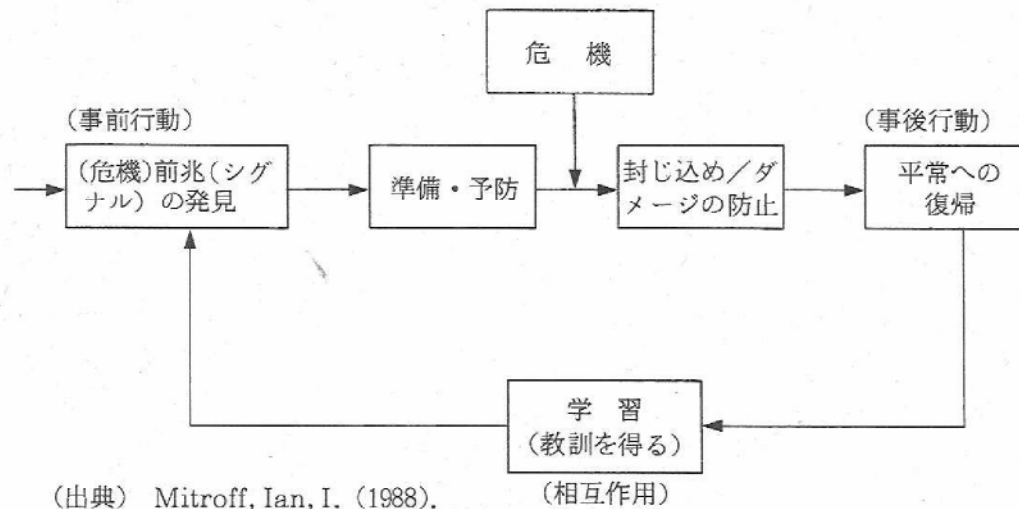


「大規模土砂災害」の考え方

- ①異常かつ激甚な土砂災害で、市町村、都道府県による対応では限界があり、指定行政機関等の支援を必要とするもの
- ②大規模な、天然ダムの形成・土石流・地すべり・崩壊、および同時多発的な土砂災害の発生等により想定を越える被害の発生が予想されるもの

危機管理の考え方

危機管理の5段階



2 大規模土砂災害対応の実態と課題

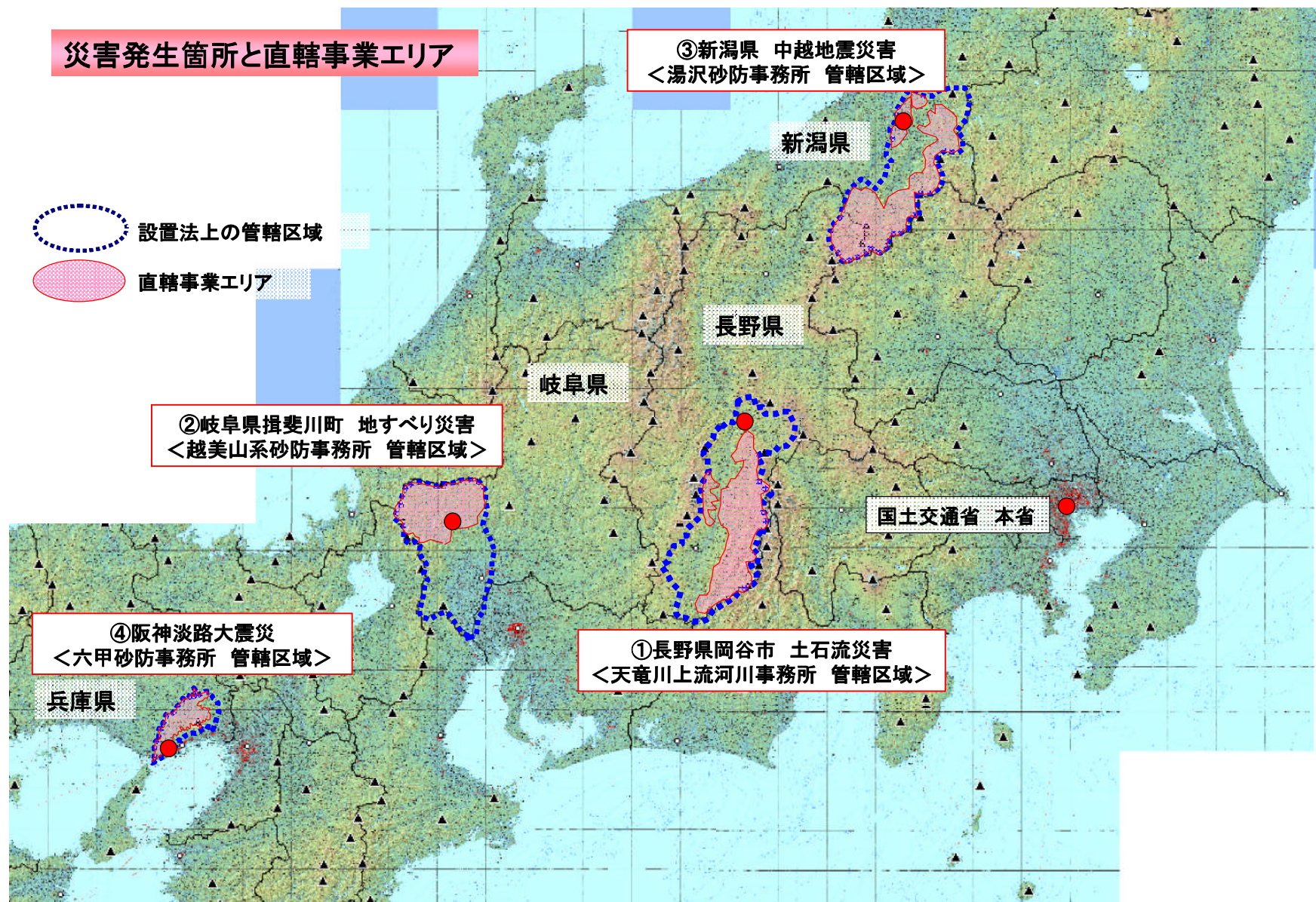
近年の大規模土砂災害として、以下の事例を取りあげ、大規模土砂災害時の対応状況、課題について整理した。

表 1 近年の大規模土砂災害

NO.	対象災害	災害場所	発生日時	要因	土砂災害の状況	土砂災害 タイプ	直轄事業 エリア
1	岡谷市 土石流災害	長野県岡谷市	平成 18 年 7 月 19 日 04 : 40 ごろ	梅雨前線豪雨	12 箇所（岡谷市）で土 石流が発生。	同時多発型	外
2	東横山 地すべり災害	岐阜県揖斐川 町東横山地内	平成 18 年 5 月 13 日 08 : 00 ごろ	地すべり	一級河川揖斐川左岸斜 面で地すべりが発生し、 河道の 3 分の 2 を閉塞。 上下流域の広範囲で被害 が生じるおそれがあった。	単発型	内
3	新潟県中越 地震土砂災害	新潟県山古志 村ほか	平成 16 年 10 月 23 日 17:56	地震	地震を誘因として、至 るところで斜面が崩壊 し、芋川流域の東竹沢地 区、寺野地区他において、 地すべりにより天然ダム が形成された。地震によ り、山古志村の機能が麻 痺した。	広域同時 多発型	外
4	阪神淡路 大震災	兵庫県ほか	平成 7 年 1 月 17 日 05:46	地震	地震を誘因として、六 甲周辺で斜面崩壊、地す べりが多数発生。地震に より、関係機関の機能が 麻痺した。	広域同時 多発型	内

災害発生箇所と直轄事業エリア

- 設置法上の管轄区域
● 直轄事業エリア



2.1 平成 18 年 7 月 19 日 岡谷市土石流災害

(1) 被災状況写真

①小田井沢（岡谷市）



写真 小田井沢川(岡谷市湊3丁目)土石流全景

(出典：長野県豪雨災害に関する航空写真 平成 18 年 7 月 PASCO)



写真 小田井沢川下流(岡谷市湊3丁目)の道路に堆積した土砂

(出典：土砂管理研究グループ火山・土石流チーム HP)

②志平川（岡谷市）

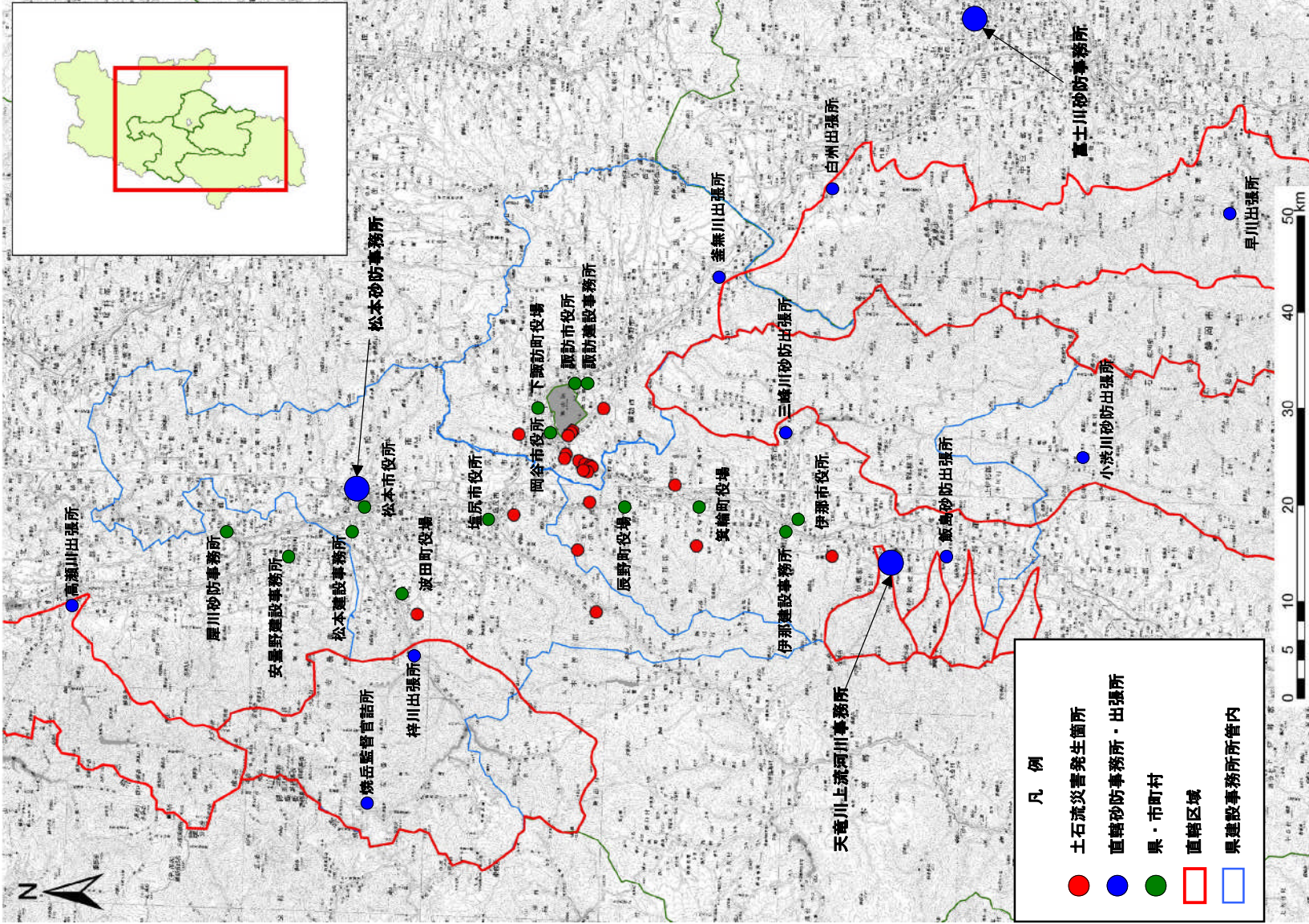


写真 志平川(岡谷市川岸2丁目)土石流全景
(出典：長野県豪雨災害に関する航空写真 平成18年7月 PASCO)

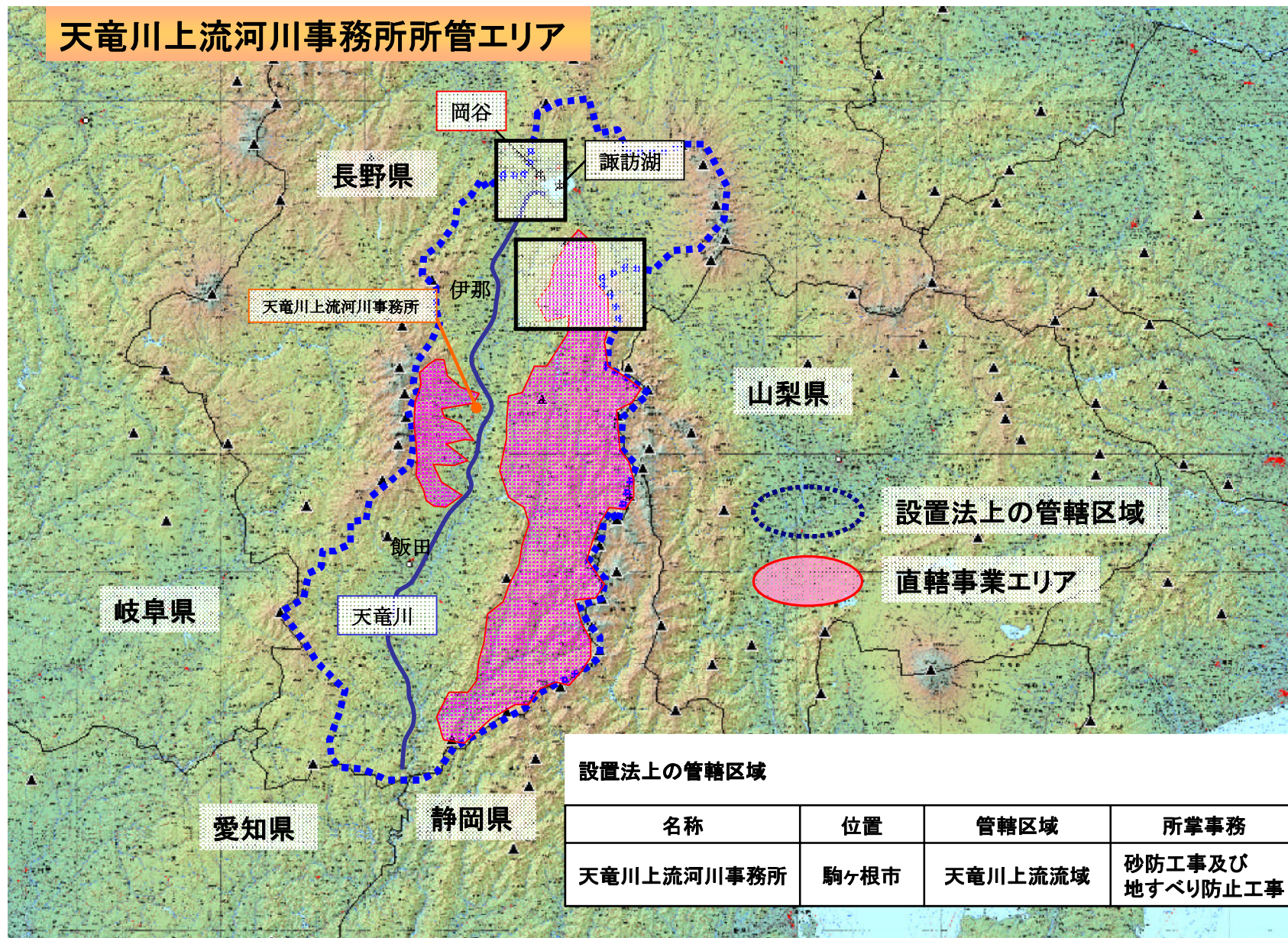


写真 志平川下流(岡谷市川岸2丁目)の状況
(写真中央にあった家屋が流された)
(出典：土砂管理研究グループ火山・土石流チーム HP)

(2) 災害位置



天竜川上流河川事務所所管エリア



砂防指定地2条 指定状況
(諏訪湖西側(直轄事業エリア外))



2条面指定

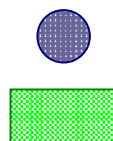


2条指定(線指定)

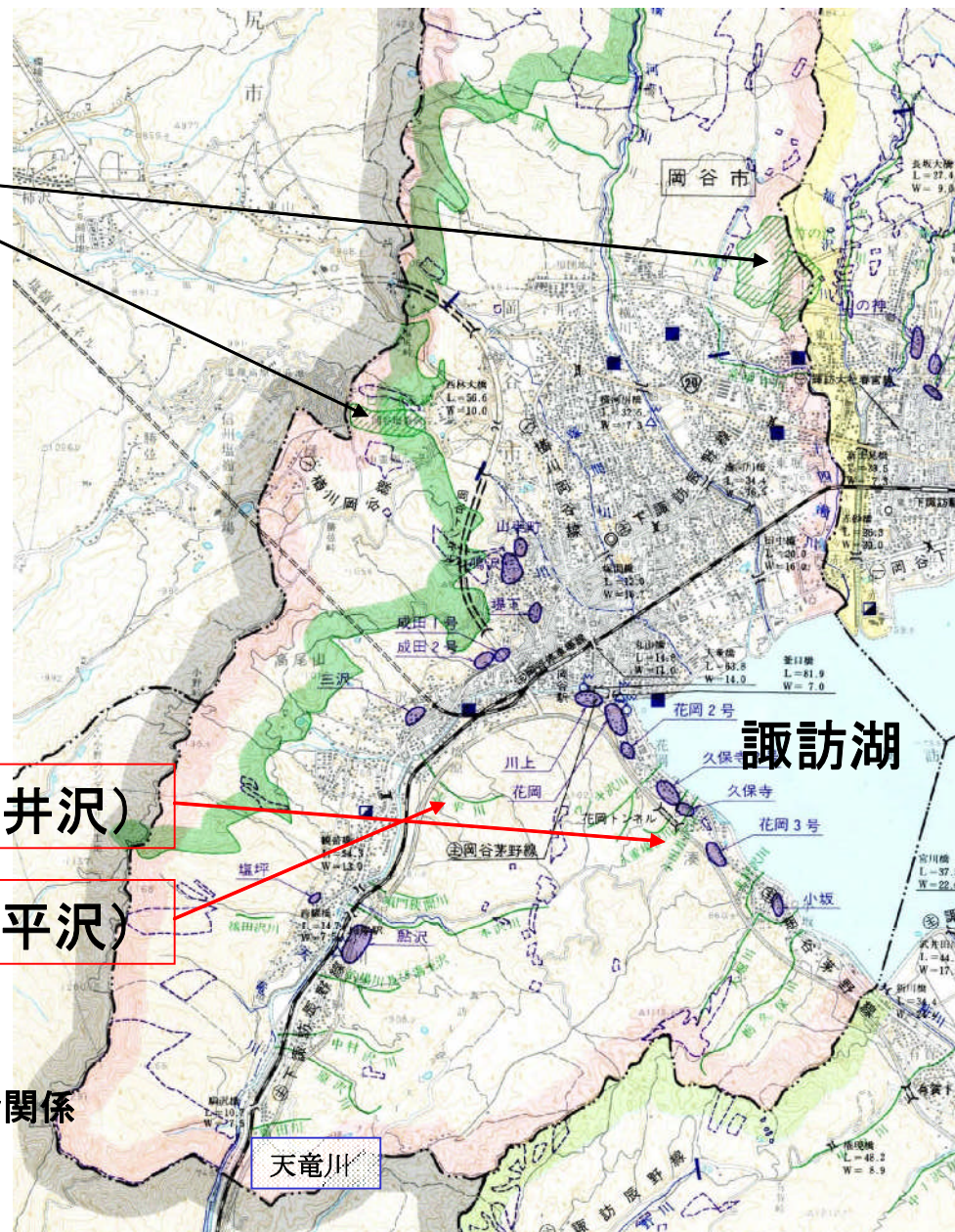


湊3丁目(小田井沢)

川岸東(志平沢)



他法令関係



砂防指定地2条および6条 指定状況
(天竜川上流(直轄事業エリア))



(3) 対応状況（岡谷市土石流）

① 初動体制状況（土石流が発生した7月19日の対応）

- 7月19日05:00 国土交通省は梅雨前線による豪雨のため非常体制に移行。
- 7月19日06:00 長野県は国土交通省に岡谷市の土石流災害第一報を電話連絡。
(ただし、詳細不明とのこと)
- 7月19日10:05 長野県は国土交通省に岡谷市の土石流災害を報告（被災から5時間後）。
- 7月19日13:00 国土交通省は長野県に対して専門家派遣の打診。
- 7月19日13:00 関東地方整備局は長野県に災害対策車両の派遣を打診（県は自衛隊の照明車を手配済みとの回答）。
- 7月19日14:00 長野県は国土交通省に土砂災害専門家の派遣依頼。
- 7月19日15:00 岡谷市の要請により、関東地方整備局は照明車2台を派遣。
- 7月19日 国土交通省の専門家が岡谷市に到着（20日にかけて現地調査を実施）。
- 土砂災害報告状況 7月19日21箇所→7月27日82箇所→最終的に122箇所

② 専門家派遣状況

- 7月19日13:00 【再掲】国土交通省は長野県に対して専門家派遣の打診。
- 7月19日14:00 【再掲】長野県は国土交通省に土砂災害専門家の派遣依頼。
- 7月19日 【再掲】国土交通省専門家が岡谷市に到着（20日にかけて現地調査を実施）。
- 7月22日 長野県の要請を受けて、土木研究所の地すべり専門家を派遣。
- 7月24日～25日 長野県の要請を受けて、二次災害防止のために専門家を派遣。

③ 応急対策状況

- 7月20日11:30 国土交通省は、北陸地方整備局に岡谷市方面をヘリで調査するように依頼（同日16:15出勤し、調査を開始）。
- 7月25日09:00 長野県の要請により関東地方整備局は衛星通信機材2台等を設置。
- 7月23日 小田井沢に土石流ワイヤーセンサー設置（県）。
- 7月24日以降 大型土のう積み等の応急対策に着手（県）。

（4）課題

① 同時多発的な土砂災害における国と県の役割

- 国土交通省は長野県からの報告を受けた後、被害の概括的な状況から、長野県の対応に任せるのではなく県へ専門家の派遣を打診、専門家を派遣し、また地方整備局へ調査の依頼を行った。
- 長野県は国土交通省に土石流災害を報告するまで発生から約5時間を要し、土砂災害の発生状況を全体的に把握するまでに1週間以上を要した。
- 岡谷市において土石流発生12件（長野県下の土砂災害は122箇所発生）。
- 市町村と都道府県の災害（二次災害含む）に対する対応の違い。

② 同時多発的な土砂災害における各地方整備局の対応のあり方

- 諏訪湖周辺は北陸地方整備局、中部地方整備局、関東地方整備局の境界付近に位置するため、県、市町村の対応窓口の一本化等、各地方整備局で連携しながら対応を行う必要がある。